新潟市政だより

発行所　新潟市役所
新潟市西堀通大畑町866ノ8
電話代表(3)2111番
新潟市長
発行人　村田三郎
新潟市湊町通二ノ丁2609
編集人　佐野武一
新潟市沼垂1962
印刷所　文明堂印刷所
新潟市西堀前通4
電話(2)8123番
毎月一回5日発行
定価　一部3円

分譲住宅の購入申込受付

7月16日～25日

環境のよい土地つき文化住宅

小針地区　六五戸
松浜地区　二〇戸

住宅金融公庫の融資による昭和三十二年度新潟市の分譲住宅購入希望者の申込受付が、七月十六日から七月二十五日までに次の要領で行われることになりましたので、御希望の方は市役所民生課に申込んで下さい。

一、住宅の分譲予定価額

この住宅をお買いになるには別表のとおり資金が必要です。

二、公庫の借入金

公庫の借入金は最高五十一万円まで借入れることができますが、申込人の月額収入五、五二〇円について十万円の割合で借入れることができますので、五十一万円を借入れる場合は二七、六〇〇円余の収入を必要といたしますが扶養親族の多い方とか自己資金の調達方法等によりそれ以上の収入を必要とする場合もあります。なおこの借入金は年利率五分五厘を以て十八年間元金均等利子不均等償還することになります。

三、自己負担金

自己負担金（頭金）は別表総建築費から公庫借入金を差引いた金額のことでこの自己負担金は次のとおり納入することになります。

1、小針団地

第一回は契約締結時に土地代金の金額と建物代金、附帯設備費の半額を納入し第二回は住宅建築工事が団地平均進捗率五〇％に達したときに第一回の残額を納入することになります。

2、松浜団地

第一回は契約締結時に土地代金、建物代金及び附帯設備費の半額を納入し第二回は住宅の建築工事が団地平均進捗率五〇％に達したときに第一回の残額を納入することになります。

四、申込受付の方法

1、受付期間は七月十六日から七月二十五日まで。

2、受付場所は市役所民生課（公会堂裏仮庁舎内）

3、申込用紙は受付場所に用意してあります。

五、小針団地現場案内

小針団地を直接現場に御案内し申込される方に住宅の環境を御紹介したいと思いますので希望の方は左記によりお集り下さい。

○期日七月二十日（土）

○場所及び出発時刻
公会堂前又は関屋団九郎バス停留所
午後二時（公会堂発）
午後二時十五分（関屋団九郎バス停留所発）

○現場案内の方法
無料の貸切バスを運行して市の係員が現場で計画を説明します。

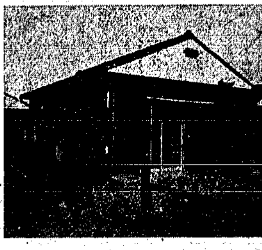
六、その他

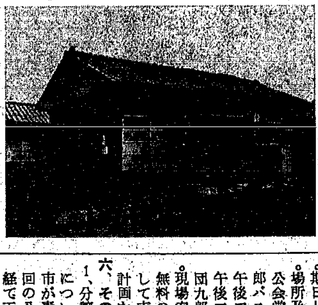
1、分譲住宅の建築工事については設計監督を市が責任を以て行い数回の公庫の現場審査を経て工事を完工します。

2、この分譲住宅は住宅金融公庫の融資住宅であり資金の貸付事務は次の銀行が公庫から業務を委託されています。

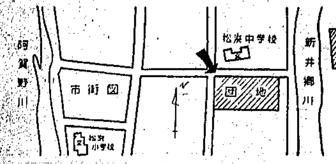
○東堀前七第四銀行本店信託課
○上大川前八北越銀行新潟支店
○本町一新潟相互銀行本店
○西堀前七大光相互銀行新潟支店

3、その他詳細については前記金融機関並びに市役所民生課住宅係にお問合せ下さい。





写真は ㊤A型住宅 ㊦B型住宅

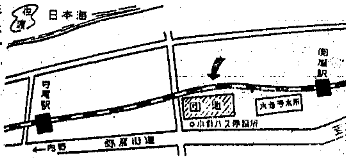


松浜団地見取図

31年度の分譲住宅をこの松浜団地の高台に建設し購入者より，この団地は自然を愛し自然を楽しめる健康快適地と大変よろこばれています。文化住宅街は都心より郊外に移りつつある今日，最も誇り得るこの土地に今年度は更に20戸建設します。

小針団地見取図

小針地区は白砂青松の高台で新しい住宅街となる住宅建設の最適地です。この地区を市では都市計画と対応して立派な住宅街を造成するため総合的な計画をたてております。近い将来はこの地域一帯が分譲住宅の建設と相俟つて住宅都市化される環境の良好な土地です



種別		戸数	土地 坪数	土地 単価	土地 金額	建物 坪数	建物 単価	建物 金額	附帯工事費	事務費	合計額	公庫融資限度額	頭金（自己負担金）	間取
小針団地	A型住宅	33	65	円 5,800	円 377,000	15	円 32,000	円 480,000	円 60,000	円 8,000	円 925,000	円 510,000	円 415,000	6畳，6畳，4.5畳，湯殿
	B型住宅	29	60	5,800	348,000	12	32,000	384,000	60,000	8,000	800,000	440,000	360,000	6畳，6畳，湯殿
	D型住宅	3	65	5,800	377,000	16	32,000	512,000	60,000	8,000	957,000	440,000	517,000	6畳，6畳，湯殿，店舗4坪
	計	65												
松浜団地	A型住宅	10	75	2,550	191,250	15	32,000	480,000	60,000	8,000	739,250	500,000	239,250	6畳，6畳，4.5畳，湯殿
	B型住宅	8	65	2,550	165,750	12	32,000	384,000	60,000	8,000	617,750	420,000	197,750	6畳，6畳，湯殿
	D型住宅	2	75	2,550	191,250	16	32,000	512,000	60,000	8,000	771,250	420,000	351,250	6畳，6畳，湯殿，店舗4坪
	計	20												

一例

		総建築費		公庫融資最高額		頭金
小針団地	A型住宅の場合	925,000	－	510 000	＝	415,000
松浜団地	B型住宅の場合	617,750	－	420,000	＝	197,750

5月中の人口動態

出生	455
死亡	[illegible]
死産	54〃
婚姻	324〃
離婚	34〃

7月16日 農業委員の選挙

立派な人を選びましょう

来る七月十六日には全国一斉に農業委員会委員の任期満了による選挙が行われます。新潟市では今迄新潟、石山、鳥屋野、大形、松浜、南浜、濁川、坂井輪、大江山、曽野木、両川にそれぞれ地区農業委員会を設置しておりましたが今回の法律改正に基いてこれらの地区農業委員会を統合して新潟市農業委員会一本とすることに決まりました。又市の農業委員の定数は四十人ですが前記十一地区に選挙区を設け、新潟一人、石山五人、大形六人、鳥屋野三人、松浜一人、南浜四人、濁川三人、坂井輪四人、大江山五人、曽野木四人、両川四人の委員をそれぞれ選挙することになっています。この選挙において投票できる人は次に掲げる資格を有し欠格条項に該当しない人で選挙人名簿に登録されている者です。

1 本市農業委員会の区域内に住所を有する者
2 年令満二十年以上の者
3 一反歩以上の農地につき耕作の業務を営む者
4 前記の者の同居の親族又は配偶者で年間概ね六十日以上耕作に従事する者

七月十六日の農業委員会委員の選挙には棄権しないで立派なよい委員を選びましょう。

柾谷小路など道路舗装はじまる

交通緩和に皆さんの協力を

新潟大火後急激に破損して早急に復旧方の要望がありました柾谷小路、東中通の内閣所通より東堀通間の道路舗装は、このたび県工事で新工を見ることになりましたが、ここは交通量の極めて多い場所でもあり、しかも工事は耐用年数の長いコンクリート舗装でありますので如何にしても片側の交通を止めて仕事をしなければなりません。これがため沿道の方々は勿論のこと市民の皆さんにも大変不自由をおかけすることと思いますが、十月末迄には竣工の見込てありますので工事中諸車はできるだけ廻り道をしていただき交通の緩和をはかり一日も早く新潟市の目抜通りにふさわしい理想的な舗装道路のできますよう皆さんの御協力をお願いいたします。

住宅のある事務所、商店用耐火建築物をお建てになる方へ

市街地の立体化や不燃化が必要な場所に公庫の低利長期の融資で住宅のある事務所商店用の中高層耐火建築物をお建てになることができます。この建設資金の融資に当つて重点をおく地域は主として都市の防火地域や準防火地域ですが、その他の地域でも適当な計画があれば相談に応ずることになっています。融資される建物は鉄筋コンクリート造等の耐火構造で地上三階以上のものですが防火建築帯の地域では地上三階以上の建築を予定した二階建でも融資されます。又融資金は年利六分五厘で十年以内に償還することになっています。なお詳細については住宅金融公庫指定の金融機関にお問合せ下さい。

今月の納税

固定資産税 第2期

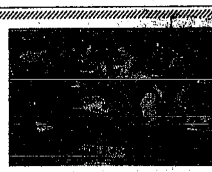
納期限　7月31日

上記のとおり固定資産税第2期の納期がまいりました。何卒お忘れなく納期内に完納下さるようお願いします。

政治に対する理解を深めるため

政治講座など計画

市の選挙管理委員会と教育委員会で準備



民主国家の政治、即ち民主政治の核心は「国民の、国民による、国民の為の政治」といわれておりますが、それには国民の一人一人が政治に参加することにおいてのみ初めて実現し得るものであります。然しながら果して国民の一人一人がその自覚と誇りを堅持して、しかもその実践に努力しているでしょうか。民主国家の国民としての義務を果さないで、陰であれこれと不平不満を並べていることはないでしょうか。総てを他人に委せてその中に何とかなるだろうと極めて安易な態度でいることはないでしょうか。私達はもつともつと自分の信念に忠実となつて、自分自身の考えや意志を政治の面にも反映するように努力すべきではないでしょうか。単に選挙の時に一票を行使することだけでそれが果せたといい切れるものではありません。その一票が果して清らかで、自分に対しても他人に対しても、社会に対しても偽りのない公明正大なものであるといい切れるものであるかどうか。又いい切れるものであるとしてもそれが果して民主国家の国民としての正しい判断と知性によつているかどうかを常に反省してみる必要があるのではないでしょうか。「公明選挙を致しましょう。」という言葉が、私達の生活の中に叫ばれなければならないということは、私達がまだまだその真の精神を理解していない証拠といわねばなりません。私達は生活を向上させる為に今までもいろんなことを学んで参りましたが、これからも機会ある毎に民主主義の正しい精神について理解を深め民主主義のあり方について研究し、現代人として辱かしくないだけの政治的教養と関心を高めようではありませんか。

このたび以上のことについて少しでも役立てようと市の選挙管理委員会と市の教育委員会が協力して、市民の皆さんにこれ等の理解を深める為の機会を提供致したいと目下種々計画を進めております。市民の皆さんは是非この政治講座や政治問題講演会の開催される際は、進んで参加され私達自身の手で明るい楽しい社会をつくりあげる力を身につけていこうではありませんか。

【写真は熱心に政治学を学ぶ人達】